

反独占 急進左派と歩調 大企業規制派の3人台頭

米企業 反トラスト法攻防

反トラスト法の「三銃士」がバイデン政権を支える



バイデン大統領

起案 ティム・ウー特別補佐官

7月 大統領令



FTC (独禁当局) リナ・カーン 委員長



司法省 反トラスト局 ジョナサン・カンター 司法次官補

(注)写真はロイター、ウー氏はAP、カンター氏は上院司法委員会のウェブサイトから

米政権の競争政策を担うのは、弁護士や学者として巨大企業の野放図な拡大に警鐘を鳴らしてきた若き論客たちだ。100年前、最高裁判事として巨大企業に対峙したルイス・ブランタイスの系譜を引く彼らが、長らく独占を容認してきた「シカゴ学派」のルールを敷き直す。

「シカゴ学派」の40年の実験は失敗した。9月30日、ニューヨークのフォーラムで講演したティム・ウー氏は切つて捨てた。

コロナ大准教授のリン・カーン氏はエール大学の論文で、IT大手はサービスを無料で提供する代わりに市場を支配し、社会全般に不利益を与えたと批判。今年32歳の若さで独禁当局である連邦取引委員会（FTC）委員長に就任した。司法省の反トラスト局長に就任したジョナサン・カンター氏は、活動家の弁士として巨大テックを起訴した中心人物だ。寛容な競争政策が、巨大企業に富が集中し中小企業や労働者が瘦せ細る「巨大企業の呪い」を招いたと批判する。

また、彼らは最近まで市井の学者や弁護士にすぎなかった。なぜ権力の中枢であるワシントンで反独占の指揮を執るまでに至ったのか。背景の長い期間を駆け振り子の急進左派の影響が拡大した。中道寄りのバイデン氏も、民主黨員の支持をまとめるには大企業に批判的なサンタース上院議員ら急進左派と歩調を合わせる必要がある。

さらに大企業による寡占や格差の拡大を問題視する消費者団体やシンクタンクも力をつける。同調する財団や投資家から資金力を武器に政治を動かす試みに対抗、志を同じくするカーン氏らワシントンの要職に送り込むことに成功した。

若者を中心に過まぐ格差への不満が、急進左派の意見を無視できない政治と相まって、巨大企業を批判し、急進左派の急進な台頭を警戒する声もある。

カリフォルニア大バークレー校のカーン・シャピロ教授は「シカゴ学派は行き過ぎだったが、大企業を無過失で解体する動きは経済成長を阻害すると警戒。新ブランタイス派をポピュリストと呼び危ぶむを指摘する。

TC委員に就任した。司法省の反トラスト局長に就任したジョナサン・カンター氏は、活動家の弁士として巨大テックの反競争的な行為を訴える法廷闘争に長年参加してきた経歴を持つ。

また、彼らは最近まで市井の学者や弁護士にすぎなかった。なぜ権力の中枢であるワシントンで反独占の指揮を執るまでに至ったのか。背景の長い期間を駆け振り子の急進左派の影響が拡大した。中道寄りのバイデン氏も、民主黨員の支持をまとめるには大企業に批判的なサンタース上院議員ら急進左派と歩調を合わせる必要がある。

さらに大企業による寡占や格差の拡大を問題視する消費者団体やシンクタンクも力をつける。同調する財団や投資家から資金力を武器に政治を動かす試みに対抗、志を同じくするカーン氏らワシントンの要職に送り込むことに成功した。

若者を中心に過まぐ格差への不満が、急進左派の意見を無視できない政治と相まって、巨大企業を批判し、急進左派の急進な台頭を警戒する声もある。

カリフォルニア大バークレー校のカーン・シャピロ教授は「シカゴ学派は行き過ぎだったが、大企業を無過失で解体する動きは経済成長を阻害すると警戒。新ブランタイス派をポピュリストと呼び危ぶむを指摘する。